

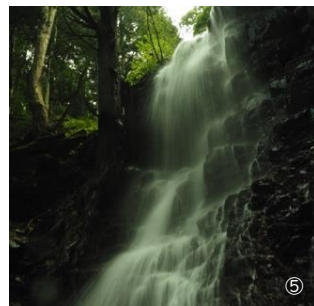
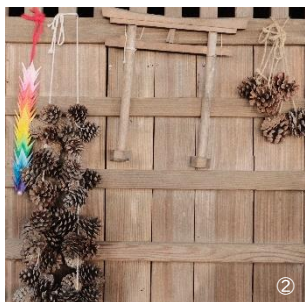
富士急 T-Rail トレイル

きゅうかまくらいどう
旧鎌倉街道

- 最寄駅：河口湖駅
- 歩行時間：3時間5分
- 標高差：340m



①母の白滝のそばの展望地から。滝を見るにはお昼過ぎがオススメですが、富士山は朝早い方が綺麗に見えるので、時間配分が悩ましいところ。②白山神社にはいろいろな数の松ぼっくりが供えられています。③親鸞聖人の像。側には立派なイチョウが2本。④規模は小さいながらも荘厳な河口浅間神社。⑤母の白滝の「母」はコノハナサクヤヒメのお母さん。織物の神様です。



鎌倉時代以降、鎌倉街道と呼ばれる道路が各地で整備されました。甲府と鎌倉を結ぶ街道は、御坂峠から河口湖畔を通っていました。河口湖駅の近くから河口浅間神社にかけては、当時の街道ルートがそのまま残されている貴重な区間。武田信玄もきつと通った歴史みちを、当時の様子を想像しながら歩くと楽しいですよ。

住宅街の入り組んだ路地を抜けると見つかる、石畳風の舗装がされた道が旧鎌倉街道。見晴らしのよい護國神社や嘯(うそぶき)放水路の取水口を過ぎると浅川(あざがわ)の集落に。江戸時代創建の白山神社の別名は「疣(イボ)権現」。自分の年齢の数だけ松ぼっくりを白糸で繋いで奉納するとイボが治るとか。近くの阿弥陀堂にある2本の大イチョウは、旅の途中でこの地に立ち寄った親鸞聖人が使った箸を刺したものだという伝説があります。湖畔の遊歩道沿い、河口湖大橋のたもとの産

屋ヶ崎は、日本神話に登場するトヨタマヒメが産屋を建てたとされる場所。彼女は富士山の祭神であるコノハナサクヤヒメの息子のお嫁さんです。ここは写真家、岡田紅葉が好んだ撮影スポットのひとつとも言われています。

湖畔の遊歩道からもみじの並木道を抜けて山へ向かって進むと、河口浅間(あさま)神社の前で再び鎌倉街道と合流します。街道沿いには富士山への信仰登山が栄えたところ、登山者の宿泊やガイドを請負う「御師」が軒を連ねていました。禊場である母の白滝にも、きっと多くの信仰登山者が訪れたのでしょう。信仰登山の玄関口が富士吉田に移ってからは静かな農村に。河口浅間神社の立派な社殿や境内にある巨木の数々が、この地域の歴史の長さやかつての賑わいを教えてくれます。

参加特典

- ①本マップを河口湖美術館で提示すると入館料金が50円引き！
 - ②河口湖美術館でオリジナルスタンプを押印し、マップを河口湖駅手荷物預かり所で提示すると記念品をプレゼント！
- ※毎週火曜日は河口湖が休館日となります。その場合は本マップを提示の上、手荷物預かり所スタッフにお伝えください。
河口湖美術館公式サイト：<https://www.fkchannel.jp/facility-01>

富士急バス時刻表

- ◆甲府線(河口湖駅～河口局前～甲府駅)
- ◆河口湖周遊バス(河口湖駅～河口湖畔～自然生活館)



甲府線



河口湖周遊バス

富士急行線 電車時刻表



フォトスポット「天空の鳥居」の先にある駐車スペース付近で林道を外れて登山道へ道が分かなければ、舗装林道を歩いても浅間神社まで下りられます

河口浅間神社

富士河口湖町

河口湖もみじ回廊

11/1 (土) ~ 11/30 (日)
「河口湖紅葉まつり」会場
キッチンカーの出店やクラフト市・
もみじのライトアップ

河口湖美術館

河口湖大橋の下をくぐる

産屋ヶ崎

湖畔道路を渡る横断歩道あり。湖畔遊歩道へ

2階建ての展望台

護国神社

丁字路を渡り右へ
2つめの路地を左折して住宅街の路地へ

ほうとう不動と
みやげ物店の間の道を北へ

河口湖駅

母の白滝



巨大な砂防ダム

河口湖駅から、または河口浅間神社から、どちらからスタートしてもアップダウンの程度はあまり変わりません。河口局前を経由するバスは1時間に1本程度なので、事前に時刻表を確認して。湖畔を走る河口湖周遊バスの運行間隔は15分に1本ですが、春や秋のハイシーズンはバスや道路がとても混雑するので、途中のバス停から乗れなくなってしまうこともあります。

おすすめのシーズンはもみじ回廊が見頃を迎える晩秋や、落葉樹の葉が落ちた冬。空気が澄んで、木々の間から富士山が見える場所も増えます。凍った母の白滝が見たいなら、1月~2月。滝に日が差すお昼過ぎがオススメです。

舗装道路歩きが長いので、登山靴よりもスニーカーやトレイルランニングシューズなど、ローカットで柔らかめの靴で歩くのがオススメです。ところどころにある車道の横断では、交通量が多いので左右をよく確認して横断しましょう。

【チェックポイント】

河口湖美術館館内でオリジナルスタンプをゲットしてください。
スタンプを押したマップをゴールの河口湖駅手荷物預かり所で
ご提示いただくと記念品をプレゼントいたします！

※河口湖美術館は毎週火曜日休館日となります。
その場合は、本マップをご提示の上、手荷物預かり所スタッフにお伝えください。
河口湖美術館公式サイト：<https://www.fkchannel.jp/facility-01>

阿弥陀堂

親鸞聖人の立像があるお堂

白山神社

河口湖治水組合記念碑（自然災害伝承碑）

1983（昭和58）年、1991（平成6）年の増水被害を伝える石碑

ロープウェイのそばを湖畔に向かって坂を下る

「鎌倉街道」という手書きの看板あり。案内に従って左折

河口湖美術館スタンプ

●●ミニ情報●●

鎌倉街道を歩いていると、湖畔の道路と比べてかなり高い位置であることに気づくはず。河口湖はここから流れ出る自然河川がないため、大雨が降ると水位が上昇しやすいという問題がありました。増水しても通行できるよう、街道は湖面よりも高いところに作ったというわけ。昭和の中ごろまでは湖畔の各集落を結ぶ渡し船もあり、その名残は「渡船場入口」というバス停にも見られます。

火山性の土壌が多く、農耕が難しい富士北麓地域の中でも珍しく、河口は昔から米作ができた平坦地。それでも十分な量のコメは作ることができず、主食はほうとうやうどん、水害で田畑が全滅することもしなくなかったそう。河口湖の干拓事業は御坂トンネル工事で出た残土を使ってすすめられ、発電用水路を治水にも使えるようになったことから平成以降水害は減少。干拓事業でできた湖畔道路周辺の風景は、河口湖を国内有数の観光地に押し上げる要因になりました。

スタンプ押印後

河口湖駅手荷物預かり所で

この地図を提示すると

記念品プレゼント！